

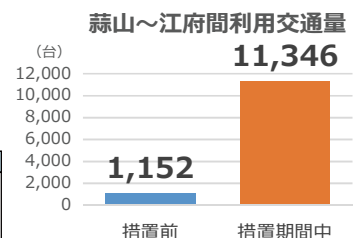
災害・救急救命時における米子道の貢献

- 2013年（平成25年7月）の豪雨時において、一般国道が通行止めになった際には、米子道が**代替道路**として機能しました。
- 江府町など米子道沿線から高度医療機関（鳥取大学医学部付属病院）へ搬送する場合、米子道を利用することにより**搬送時間が短縮**され、**救急救命活動に貢献**しています。
- 東日本大震災（2011年）では、陸上自衛隊米子駐屯地の被災地派遣において、米子道をはじめとする高速道路が利用されました。

災害時の代替利用



写真提供：岡山県



【累計交通量：次の期間】
 措置前：平成24年7月19日～8月8日（21日間）
 措置期間中：平成25年7月18日～8月7日（21日間）



【鳥取県 道路企画課】
 平成25年7月豪雨では、一般国道が通行止めとなりましたが、並走する**米子自動車道を代替路**とすることで、人流・物流への**影響が最小限**に抑えられました。



【真庭市 危機管理課】
 一般国道が通行止めとなっても、ほとんどの場合で米子自動車道が利用でき、救急搬送も含め、**市民の安全・安心に大きく寄与**しています。

救急救命活動時の搬送時間短縮



江府町江尾～鳥取大学医学部付属病院への所要時間比較



※平成27年度道路交通センサス（国土交通省）より算出



災害派遣時の移動時間短縮



写真提供：陸上自衛隊米子駐屯地第8普通科連隊第1科

【陸上自衛隊米子駐屯地 第八普通科連隊】
 災害派遣の際に、米子道をはじめとする高速道路を利用したことで、経路間違いもなく、移動時間も少なく、**速やかに救援活動が実施**できました。

車両延べ**4,400台**、
 派遣隊員延べ**14,500人**を派遣



派遣期間：2011年3月～2011年6月